

春山小だより



【学校教育目標】「他者とつながり、未来に向けて主体的に学び続ける子の育成」

【めざす児童像】「自分の考えをもつ子」「思いやりのある子」「心も体もきたえる子」

福井市文京3丁目13-1

TEL：(0776) 22-8808

Mail：haruy-e@fukui-city.ed.jp

HP もご覧ください



R7.9.3

第6号

文責：校長

1 学期後半がスタートしました

8月27日、学校が再開しました。久々に友達顔を見て元気に言葉を交わす子どもたちの様子や生き生きした表情を見ることができ、たいへんうれしく思いました。初日の活動では、お互いの夏休みのできごとについて報告し合った後、さっそく授業や給食がはじまり、たいへん盛りだくさんの1日でした。各学級では、すごろく形式で夏の思い出を伝え合う活動を取り入れたり、久しぶりに集まった友達とみんなで楽しむ時間をつくったりしながら、学校で過ごすことの楽しさを味わいながら、学校の再開をスタートできるよう工夫していました。

下校時、激しい雷雨のため、下校時刻を少し遅らせました。急な連絡でしたが、保護者の皆様にはご理解やご協力をいただき、ありがとうございました。今年はまだまだ暑い日が続く、急な天候の変化もありそうです。子どもたちの安全を考えて、活動内容や下校時刻の変更もあるかと思えます。ご理解の程、よろしくお願いいたします。



委員会活動について

春山小学校では以下のような委員会活動があり、5・6年生児童がアイデアを出し合いながら、様々な活動に取り組んでいます。

- プロジェクト委員会 … あいさつ運動、なかよし集会のゲーム等の企画・運営
- クリーン委員会 … 金魚の世話や花壇の水やり、校内の美化活動
- パワーアップ委員会 … 大休みのボールの貸出しや器具室の整頓、給食の献立紹介・残食を減らす取組
- ニュース委員会 … 昼の放送の番組づくり、大休み終了やそうじ開始・終了の放送
- ブックス委員会 … 図書室の本の貸出や返却作業、本の整理、読書パズルなどの企画
- ヘルシー委員会 … 手洗い場の石けん水の補充、歯磨きカレンダー作成、歯磨き名人へのインタビュー

自分で考えて工夫すること

夏休み前の集会で、「おうちの人に聞いてばかりにならず、自分で考えて工夫して取り組む夏休みにしましょう」という話をしました。休みが明け、どのようなことを実行できたか、子どもたちに聞いてみました。

子どもたちが自分で考えて工夫したこと

- ・することリストをつくり、時間の使い方を考えた。
- ・どうすれば宿題や掃除を効率よく進められるか考えた。
- ・お母さんに「〇〇何？」と頼らないように、宿題の説明（作品の募集要項）などをよく読んで、自分で判断するようにした。
- ・勉強に集中できないから、部屋にある娯楽アイテムをなくした。
- ・難しい宿題から先に取り組んだ。
- ・水泳のタイムを縮めるためにいろいろと工夫した。
- ・お手伝いで洗濯物をたたむとき、できるだけやくたためるように妹と工夫した。
また、干すときにやる気がでないので、時間を競って楽しくできるようにした。
- ・洗濯物を取り込むとき、いつも乾いたものと乾いていないものが混じっているのを見つけたので、竿を分けて使う工夫をした。
- ・片付けのとき、あまり使わないものは奥に、よく使うものは手前に置いた。
- ・物を置く場所を決めたり、どうしたら家族が気持ちよく生活できるか考えたりしながら掃除をした。
- ・朝ご飯の前に家族全員の布団をたたむことにした。そうしたこと、家族の役に立つこともできたし、掃除しやすくなった。
- ・朝ご飯を作るのを頼まれたとき、時間を短縮できるように工夫した。

これらは高学年から聞いた取組の中からの抜粋ですが、宿題の仕方、掃除、料理や洗濯などのお手伝いなど、いろいろな場面で自分で考えて工夫できたようです。どれもすばらしい取組だと思います。今の教育（社会）では、「学習内容を習得したり覚えたりする」だけでなく、「それを活用したり、他のものと結びつけて考える力」が求められています。そのためには学校ではもちろんですが、普段の生活の中でも何気なくやり続けていることに、気づきや疑問をもち、常に「よりよくなるように考える、そして実行してみる」ことがとても大切だと思います。ぜひ、ご家庭や地域でもそのような機会を大切にしていきたいと思います。

150周年記念の航空写真ができました

5月下旬に撮影した150周年記念の航空写真ができました。

春山小だより第3号でお知らせしたように、今回は児童から人文字のアイデアを募集し、集まった作品の中からアンケートによってデザインを決定しました。今回のデザインは地球をモチーフとしており、その中に春山小学校の校章である桜を形づくっています。春山小学校が世界の様々な人々とつながっていること、そして同じ地球人として世界中の人々が仲良く暮らしたいというメッセージが込められていると思います。当日はグラウンドに引いた白線にしたがって、一人ひとりが色板を頭の上にかかげ、ドローンによる撮影を行いました。1・2年生児童は桃色の色板で中央のサクラを、3年生以上の児童は青色色板で海、そして緑の色板で大陸を形づくりしました。みんなの呼吸を合わせて、板を傾けずに動かさないでじっとしていることはたいへんでしたが、よい思い出になったと思います。

